

第18回 ちゅうでん教育振興助成（平成30年度）

報告書資料 一般 - 31

学校名・団体名	小松市立那谷小学校
コース	学校支援
活動・研究のテーマ	地域とつながり、ふるさと愛を育む教育活動の推進
<p>〈活動・研究の意義および活動報告〉</p> <p>本校には、昭和53年から、地域の寄付により金管バンドクラブが結成されており、運動会において全校児童で演奏している。しかし、近年児童数の減少、複式学級となったことによる教職員数の減少、教育予算の縮減、教職員の多忙化・働き方改革の視点から、金管バンドクラブの存続が難しい状況が続いていた。そこで昨年度末、金管バンドの存続について児童にアンケートを行った。児童は「地域の人に感謝の気持ちを届けたい」「みんなでやった達成感があるから続けたい」、という意見がほとんどであったので、今後も金管バンドクラブを継続することに決定した。そこで、これまで延期していた楽器の手入れを行い、運動会での演奏に臨みたい。</p> <p>整備が整った楽器を手にする事で、これまでよりもさらに良い演奏をしようという児童の意欲を高めることができる。そして、全校一丸となって取り組むことで、児童の根気強さを育成するとともに、地域の方々から認めてもらい、児童の達成感や自己有用感を高めたい。</p> <p>また、小規模校だからこそ地域の力を借りて、地域と共にふるさとを愛する児童の育成を図っていきたい。</p> <p>さらに、今年度よりクラブ活動の講師として、地域で趣味や特技を生かして活躍していらっしゃる方を講師に迎えて活動することで、児童が質の高いものに触れる機会、地域の方々との触れ合う機会を作り出すとともに、故郷への愛着を育成していきたい。</p> <p>活動の様子を写真にして体育館の入り口に掲示し、1年の歩みとして地域の方にも見て頂く。</p>	

【金管バンド】

4月～9月に地域在住の方を講師に迎え、計6回指導して頂いた。夏休み前の仕上がりが不十分だったため、どうするとよいか児童が話し合った結果、夏休み中のラジオ体操後に全員で練習することを児童が決め、継続して練習を行ったことで児童の主体性が育った。日々の練習の結果、例年のないよい仕上がりで、運動会当日あいにくの雨だったが体育館で地域の方々により演奏を披露することができ、児童の達成感、自己有用感の高まりにつながった。本助成金のおかげで、楽器の修理ができたことも児童のやる気につながった。また、運動会練習で那谷小唄保存会の方に来て頂き、全校で那谷小唄の踊りの練習をした。運動会の最後に、那谷小唄保存会の方の生演奏で、保護者、地域の方々と共に、那谷小唄を踊り、地域の伝統を受け継ぐ心の育成につなげることができた。



【クラブ活動】7月6日、10月19日 11月9日 12月7日 1月18日 2月8日の計6回、地域の方を講師に招いてクラブ活動を行うことで、質の高いもの、地域の方々と触れ合うことができ、楽しい活動となった。



手芸・クラフトクラブでは、2人の講師を招き、押し花ランチャマットづくり、パッチワークコースターづくり、ハーバリウムづくり、キャンドルづくりをした。



イラスト・理科工作クラブでは、2人の講師を招き、浮沈子、ホバークラフト作り、温まった空気プロペラを動かす実験、土粘土作品作り、イラスト描きを楽しむことができた。



スポーツ体験クラブでは、2人の講師を招き、相撲、柔道、バスケットボールの体験をすることができた地域行事の那谷寺奉納相撲大会にもつなげることができた。



料理クラブでは、年間1人の講師を招き、ピザ、カツサンド、オムレツ、ピロシキ、スパゲッティカルボナーラ、タンドリーチキンなど、本格的な料理を作り体験することができた。